

学生と教員の見方

【学生の見方&考え方】

(3年 鳥居皇希)

埼玉県川口市西川口は、

近年「多文化チャイナタウン」として注目を集めている。

かつては性風俗街として知られ、日本人からは敬

遠される地域だった。しか

し、安価な家賃や都心への

利便性により、中国人を中

心とした外国人居住者が増

加し、街の姿は大きく変化

している。実際に駅周辺を

歩くと、中国語で書かれた

看板や店舗が数多く見ら

れ、異国的な雰囲気広が

っている。一方で、離れた

場所には風俗店が依然とし

て残っており、西川口の風

俗街の名残がうかがえる。

地域の再生と多様性の共存④



西川口の風景



「アビールポイント」

温泉が大好きでよく浸かりに行きます。温泉に浸かりながら景色や温泉街を眺めるのも私の好きなことです。

西川口がチャイナタウン

化した背景には、複数の要

因がある。2010年に開

催された「川口B級グルメ

大会」で中華料理が注目を

集めたこと、さらに2001

5年以降のメディア報道に

よって人気が高まったこと

も起因している。中華料理

店は2010年の数軒から

2019年には70軒を超え

る規模に拡大し、地域の経

済活性化に貢献している。

現在では日本人観光客も訪

れるようになり、街は「食」

を中心とした国際的な交流

の住民が暮らしている点に

の場として成長している。

また、西川口の特徴は中

国人だけでなく、ベトナム

人やネパール人など多国籍

の住民が暮らしている点に

西川口の多文化チャイナタウン

「生活型」で共生の糸口なるか

ある。これは横浜や神戸の

ような観光型の伝統的中華

街とは異なり、生活を重視

した「多文化チャイナタウ

ン」として発展しているこ

とを示している。しかし、

現在文化的摩擦と今後の共

生のあり方が問われている。

西川口の街並みは、多文

化が交差する独特の姿を見

せている。この地域は、日

本における多文化共生の実

験的なフィールドとして、

新たな視点を付け加える

ならば、西川口の事例は、

都市の周縁部における空間

の再定義と、移民コミュニ

ティの形成がいかに地域の

アイデンティティを変えて

いくかを示す好例である。

特に、生活型チャイナタウ

ンとしての特徴は、観光型

中華街とは異なる都市機能

を持ち、今後の多文化共生

政策や地域ガバナンスのあ

り方を考える上で重要な示

唆を含んでいる。

文化的摩擦や共生の課題

に触れている点も、社会的

視座を持った成熟した考察

であり、今後は住民の声や

行政の対応など、制度的側

面にも目を向けることで、

さらに深い分析が可能とな

るだろう。